



平成29年8月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月12日

上場会社名 株式会社 サイゼリヤ

上場取引所 東

コード番号 7581 URL <http://www.saizeriya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀埜 一成

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長兼財務部長 (氏名) 潮田 淳史

TEL 048-991-9611

四半期報告書提出予定日 平成29年4月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第2四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第2四半期	70,548	0.3	4,638	44.2	5,004	48.5	3,152	59.9
28年8月期第2四半期	70,783	8.2	3,216	34.9	3,369	27.8	1,971	44.1

(注) 包括利益 29年8月期第2四半期 4,949百万円 (495.6%) 28年8月期第2四半期 830百万円 (64.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第2四半期	62.61	62.38
28年8月期第2四半期	38.92	38.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年8月期第2四半期	95,472	76,944	80.4	1,522.22
28年8月期	92,463	72,663	78.4	1,441.12

(参考) 自己資本 29年8月期第2四半期 76,764百万円 28年8月期 72,537百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期		0.00		18.00	18.00
29年8月期		0.00			
29年8月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の連結業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	147,200	1.5	11,000	22.1	11,500	25.9	7,500	36.2	148.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期2Q	52,272,342 株	28年8月期	52,272,342 株
期末自己株式数	29年8月期2Q	1,843,302 株	28年8月期	1,938,482 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年8月期2Q	50,359,703 株	28年8月期2Q	50,666,490 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和により、個人消費は底堅く推移致しました。しかしながら、欧州では英国がEU離脱を正式表明し、また今後はフランス大統領選挙やドイツの連邦議会選挙等があり、世界経済の行き先は未だ不透明感が残っております。

外食産業におきましては、顧客の嗜好が多様化し、コンビニに代表される他業種との競争が激化し、厳しい経営状況が続いております。また円安による輸入食材の高騰も懸念されております。

このような状況の下、当社グループは当たり前品質を基に店舗サービスの向上に努めて参りました。また一貫したローコストオペレーション戦略を続け、お客様のご支持を頂いたことで客数が増加しております。平成28年10月には新業態のスूपパスタ専門店「ZUPPA di PASTA」を開店して更なる業態開発を推進しております。また2016年8月24日に発生したイタリア中部地震の復興支援といたしまして、100万人のお客様のご支援もあり、1億円をアマトリーチェ市に届けることができました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は705億48百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は46億38百万円（前年同期比44.2%増）、経常利益は50億4百万円（前年同期比48.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、31億52百万円（前年同期比59.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

既存店対策としてお客様視点でのサービス強化などに努めたことにより、当第2四半期連結累計期間の既存店売上高が前期比で102.9%と好調であったことなどから、売上高559億2百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は32億36百万円（前年同期比60.0%増）となりました。

②豪州

当社で使用する食材の製造等を行っており、売上高21億21百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は3百万円（前年同期比97.8%減）となりました。

③アジア

中国の税制変更により、飲食業は営業税から増値税に変更となりました。この税制変更により、中国の売上高は従来に比べ6%程度減少、中国の営業利益率は従来に比べ5ポイント程度改善しており、売上高146億33百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益は14億34百万円（前年同期比40.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は954億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して30億9百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金の増加27億7百万円や有形固定資産の増加5億43百万円、テナント未収入金の減少2億96百万円などです。

負債合計は185億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億71百万円の減少となりました。主な要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少4億85百万円、未払法人税等の減少2億43百万円、デリバティブ負債の減少1億44百万円などです。

純資産合計は769億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して42億80百万円の増加となりました。この結果、自己資本比率は80.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、329億25百万円（前年同期比73億79百万円の増加）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、54億51百万円（前年同期比19億54百万円の増加）となりました。これは、主に税金等調整前四半期純利益47億83百万円、減価償却費27億44百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、24億15百万円（前年同期比2億95百万円の減少）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出23億91百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、12億98百万円（前年同期比14億54百万円の減少）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出4億85百万円、配当金の支払額9億8百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期の通期の業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえて予想した結果、変動が生ずることとなったため、以下の通り修正いたします。

なお、平成28年10月12日に発表しました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

平成29年8月期（通期）連結業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	145,700	9,300	9,500	5,700	112	49
今回修正予想（B）	147,200	11,000	11,500	7,500	148	01
増減額（B－A）	1,500	1,700	2,000	1,800	—	—
増減率（%）	1.0	18.3	21.1	31.6	—	—
前期実績	144,961	9,006	9,134	5,505	108	65

平成29年8月期（通期）個別業績予想（平成28年9月1日～平成29年8月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想（A）	113,600	7,100	3,700	73	02
今回修正予想（B）	116,700	8,800	5,500	108	54
増減額（B－A）	3,100	1,700	1,800	—	—
増減率（%）	2.7	23.9	48.6	—	—
前期実績	112,865	6,527	3,639	71	83

(連結業績予想の修正)

中国の税制変更により、飲食業は営業税から増値税に変更となりました。当初の業績予想作成時にはこの税制変更の影響額は不透明だったため考慮しておりませんでした。今回はこの変更の影響額がおおむね判明してきたためこの影響を反映させることといたしました。

売上高に関しましては、中国の売上高が従来に比べ6%程度減少いたしますが、個別の売上高が引き続き好調であることなどから、前回予想を上回る見込みです。

営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益に関しましては、中国の税制変更の影響により、中国の営業利益率が従来に比べ5ポイント程度改善したことや、個別の原価が改善したことなどにより、それぞれ前回予想を上回る見込みです。

(個別業績予想の修正)

売上高に関しましては、平成29年8月期第2四半期累計期間（平成28年9月1日～平成29年2月28日）の既存店売上高が前期比で102.9%と好調であったことなどから、前回予想を上回る見込みです。

営業利益、経常利益及び当期純利益に関しましては、円高に推移したことによる原材料価格の低下、売上が増加したことによる減損対象店舗の減少などから、前回予想を上回る見込みです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,217	32,925
テナント未収入金	1,120	823
商品及び製品	4,704	4,993
原材料及び貯蔵品	959	982
繰延税金資産	614	600
その他	2,750	2,685
流動資産合計	40,367	43,012
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,395	24,724
機械装置及び運搬具(純額)	2,156	2,121
工具、器具及び備品(純額)	4,047	4,171
土地	6,932	6,951
リース資産(純額)	113	108
建設仮勘定	263	373
有形固定資産合計	37,908	38,452
無形固定資産		
投資その他の資産	1,022	888
投資有価証券	339	339
敷金及び保証金	9,656	9,817
建設協力金	976	828
繰延税金資産	1,834	1,782
その他	372	366
貸倒引当金	△14	△14
投資その他の資産合計	13,164	13,120
固定資産合計	52,095	52,460
資産合計	92,463	95,472

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,027	4,945
1年内返済予定の長期借入金	485	—
リース債務	8	9
未払法人税等	1,918	1,674
賞与引当金	1,433	1,345
株主優待引当金	160	79
資産除去債務	30	34
デリバティブ負債	144	—
その他	6,185	5,940
流動負債合計	15,393	14,028
固定負債		
リース債務	113	108
繰延税金負債	35	39
資産除去債務	3,933	4,047
その他	323	304
固定負債合計	4,406	4,500
負債合計	19,799	18,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,612	8,612
資本剰余金	9,215	9,240
利益剰余金	56,967	59,214
自己株式	△3,243	△3,084
株主資本合計	71,552	73,982
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	985	2,781
その他の包括利益累計額合計	985	2,781
新株予約権	126	179
純資産合計	72,663	76,944
負債純資産合計	92,463	95,472

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
売上高	70,783	70,548
売上原価	26,696	25,139
売上総利益	44,086	45,409
販売費及び一般管理費	40,870	40,770
営業利益	3,216	4,638
営業外収益		
受取利息	102	94
デリバティブ評価益	17	189
補助金収入	43	96
その他	18	56
営業外収益合計	182	435
営業外費用		
支払利息	2	1
為替差損	11	56
自己株式取得費用	10	—
その他	4	11
営業外費用合計	29	69
経常利益	3,369	5,004
特別利益		
補償金収入	133	—
その他	—	2
特別利益合計	133	2
特別損失		
減損損失	359	150
固定資産除却損	70	19
店舗閉店損失	8	53
その他	—	0
特別損失合計	438	223
税金等調整前四半期純利益	3,063	4,783
法人税、住民税及び事業税	1,028	1,547
法人税等調整額	63	83
法人税等合計	1,091	1,630
四半期純利益	1,971	3,152
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,971	3,152

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
四半期純利益	1,971	3,152
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,140	1,796
その他の包括利益合計	△1,140	1,796
四半期包括利益	830	4,949
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	830	4,949
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,063	4,783
減価償却費	2,899	2,744
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△139	△112
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△71	△80
受取利息及び受取配当金	△102	△94
支払利息	2	1
為替差損益(△は益)	47	61
デリバティブ評価損益(△は益)	△17	△189
固定資産除却損	70	19
店舗閉店損失	8	53
減損損失	359	150
補償金収入	△133	—
テナント未収入金の増減額(△は増加)	286	296
たな卸資産の増減額(△は増加)	△290	△205
その他流動資産の増減額(△は増加)	405	304
買掛金の増減額(△は減少)	△352	△182
その他流動負債の増減額(△は減少)	△1,034	△330
その他	82	72
小計	5,085	7,292
利息及び配当金の受取額	79	71
利息の支払額	△2	△1
法人税等の支払額	△1,798	△1,911
補償金の受取額	133	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,497	5,451

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年2月28日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,409	△2,391
無形固定資産の取得による支出	△318	△3
敷金・保証金・建設協力金の支出	△218	△332
敷金・保証金・建設協力金の回収による収入	366	396
その他投資に関する収入及び支出(△は支出)	△131	△84
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,711	△2,415
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,504	△485
自己株式の取得による支出	△471	△0
配当金の支払額	△912	△908
ストックオプションの行使による収入	135	95
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,752	△1,298
現金及び現金同等物に係る換算差額	△600	969
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,567	2,707
現金及び現金同等物の期首残高	28,113	30,217
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,545	32,925

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。